

大阪市の文化施策・主な文化事業(概要)

平成30年5月11日
大阪市

第2次大阪市文化振興計画の概要

計画期間：平成28年度～32年度

(なお、社会経済情勢の変化等に伴い、適宜見直しをする予定)

「文化自由都市、大阪」

めざす将来像

理念

「大阪が誇る文化力を活用した魅力あふれる都市」

「あらゆる人々が文化を通じていきいきと活動できる都市」

施策の方向

「あらゆる人々が文化を享受できる都市」

B「都市のための文化」

①大阪が誇る上方伝統芸能を活用した魅力発信

②芸術文化の魅力、観光資源及び経済の活性化に活用

③都市全体を活用した芸術文化活動の展開

C「社会のための文化」

①教育、福祉、まちづくり等あらゆる施策分野への活用

②地域の特色ある芸術文化活動への取組み・支援

作用

作用

循環

多様な芸術文化活動
(産学等との連携)

循環

作用

A「文化創造の基盤づくり」

①芸術文化を創造する人材、支える人材の育成・支援の充実

②芸術文化を将来へ継承発展させる青少年の育成

③芸術家等が活動に取り組みやすい環境の整備

④貴重な文化資源の保護・保存・継承

⑤芸術文化活動を支える寄附文化の醸成

推進に向けて

重点的に取り組む事項

- 大阪の芸術文化を発展させる人材の育成
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組み
- 評価・推進体制の強化(アーツカウンシル)

大阪市の役割

- 文化施策を通じて、市民・アーティスト等の自主的な芸術文化活動が活発に行われるようサポートする
- 芸術文化の創造・活動基盤の整備、都市魅力の向上、市民等への情報発信

大阪市 H30年度 主な文化事業（概要）

A「文化創造の基盤づくり」

○芸術活動振興事業助成金 H30予算 63,000千円

文化の向上と文化的創造に寄与すると認められる芸術活動の経費の一部を助成することにより、芸術活動の水準向上と発展を図る平成30年度特別助成新設「多様な人々が参加できる芸術活動支援」

種類	一般助成	特別助成		
		大阪文化力向上支援	上方古典芸能普及発展支援	多様な人々が参加できる芸術活動支援
助成上限金額	20万円	400万円		
対象経費	会場費・舞台費・上映費、印刷費	会場費・舞台費・上映費、印刷費、出演・音楽・文芸費、作品借料、謝金・宣伝費・記録費		
実施場所	大阪市内	大阪市内	大阪市内、大阪府外、海外	大阪市内
対象活動	1公演 2作品等の展示 3総合芸術祭 4映画祭 5ワークショップ	1公演 2作品等の展示 3総合芸術祭 4映画祭 5ワークショップ 6シンポジウム 7アーカイブ制作		
対象活動内容	大阪市内で開催する芸術活動で、市民等への芸術に触れる機会提供を目的として行つもの。	大阪市内で開催する芸術活動で、大阪の魅力を活かした芸術文化の創造につながると期待でき、また、主催する芸術団体・個人の大阪での活動の活性化につながることが期待できるもの。	大阪発祥または大阪で発展してきた古典芸能について、市民はもとより広く内外に周知することで、これらの芸能の発展と大阪の文化の発信に資することが期待できるもの。	大阪市内で開催する芸術活動で、障がい者、外国人など多様な人々が参加できる工夫や配慮等があり、芸術活動を通じて多様な人々の社会参加の機会を開くことにつながると期待できるもの
関連施策			施策の方向性B「都市のための文化」	施策の方向性C「社会のための文化」

（事業実績など）

- ・H29年度実施分（年間）申請件数：特別助成44件・一般助成171件 採択件数：特別助成22件・一般助成121件
- ・H30年度実施分（上期）申請件数：特別助成38件・一般助成（上期）67件 採択件数：特別助成23件・一般助成46件

大阪市 H30年度 主な文化事業（概要）

A「文化創造の基盤づくり」

○区と連携した芸術文化青少年育成事業 H30予算 25,500千円

〔事業概要〕

芸術文化に関する青少年育成の取組みが、各区において中長期的に定着することを目的とし、各区の特性に応じた事業を実施

（事業実績など） H29実施区 8区⇒H30実施予定17区

北区	此花区	港区	浪速区	東成区	住之江区	住吉区	東住吉区
伝統芸能を体験してみよう”能・狂言”	ショートムービーの製作を通じた芸術文化青少年育成事業	海・川・港町・わがまち港区I LOVEアートプロジェクト	728（なにわ）DANCERS	東成区小学生のための芸術文化事業（上方落語）	吹いて奏でて楽しもう！音楽を通じた未来のすみのえを担う人材育成事業	＜吹奏楽のまち「住吉」＞プロジェクト～区内中学校吹奏楽部の指導～	いけばなを通して日本の美を知り芸術文化に親しむ青少年育成事業
能楽	映像、美術、音楽	美術	舞踊（ダンス）	落語	音楽（吹奏楽）	音楽（吹奏楽）	華道

○文楽を中心とした古典芸能振興事業 H30予算 35,000千円

〔事業概要〕

大阪の誇る文楽を中心とした上方の古典芸能について、専用劇場での公演とは異なる仕立てでの公演を実施するなど、気軽に古典芸能に触れる機会を市民に提供

（事業実績など）

- ・文楽公演「中之島文楽」（H29.9.29～10.1大阪市中央公会堂）
- ・ミニ公演・文楽に関するWEBフリーペーパー「文楽女子」での情報発信など
- ・総参加者数：約18,000人
- ・来場者へのアンケート結果：「次は文楽劇場で文楽を鑑賞したい」と回答した人数約90%



▲中之島文楽



▲フリーペーパー（文楽女子）

大阪市 H30年度 主な文化事業（概要）

A「文化創造の基盤づくり」

○大阪市中央公会堂100周年記念事業 H30予算 11,000千円

〔事業概要〕

開館100周年の節目の年を契機に、施設に対する市民の愛着や中之島エリアの魅力向上につながる事業を実施



B「都市のための文化」

○伝統芸能を活用した大阪の魅力開発促進事業 H30予算 8,792千円

〔事業概要〕

海外からの来阪ビジター等を対象とした伝統芸能のモデル公演や有識者会議における事業内容の検証などにより、新たな大阪の魅力を創出するための取組みを行う

（事業実績など）

ビジター向けミニ公演の実施（4回）

- ・「はじめての上方伝統芸能SHOW vol.1」 文楽・講談・半能・能ワークショップ など
- ・「はじめての上方伝統芸能SHOW vol.2」 講談レクチャー・お座敷遊び体験・落語体験 など
- ・「はじめての上方伝統芸能SHOW vol.3 ～豊臣秀吉アワー ※2回」 いけばな・狂言・能 など



大阪市 H30年度 主な文化事業（概要）

B「都市のための文化」

○大阪クラシック H30予算 32,850千円

〔事業概要〕

御堂筋・中之島エリアを中心に無料または低料金のクラシックコンサートを開催

（事業実績など）

- ・開催期間：H29.9.10～9.16（第12回）
- ・主な会場：大阪市中央公会堂・フェスティバルホール・御堂筋や中之島地区のオフィスビルのロビー 等
- ・出演楽団：大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団
Osaka Shion Wind Orchestra
- ・公演数：81公演 ・来場者数（合計）：約48,000人



▲大阪クラシック ©飯島隆

C「社会のための文化」

○現代芸術振興事業（ブレイカープロジェクト）H30予算 8,080千円

〔事業概要〕

現代芸術家の育成のため、作品制作・発表機会を提供するとともに、地域に根ざした創造活動拠点の発展をめざす。
（西成区山王地区を拠点に実施）

（事業実績など）

- ・地域資源を活用した作品制作
地域の活動拠点「新・福寿草」を活用した作品制作・発表
「西成・子どもオーケストラ」のワークショップの開催・発表
- ・地域住民等との協働など
地域の活動拠点『手芸館「たんす」』におけるワークショップ等の実施 など



▲ブレイカープロジェクト「西成・子どもオーケストラ」

第2次大阪市文化振興計画 成果目標及び指標（平成29年度）

	項 目	H27	H28	H29	H32
全体目標	大阪市が創造性を発揮し、チャレンジすることができる魅力的な都市（文化自由都市）であると思う市民の割合※	15.9%	17.9%	—	約4割
A 文化創造の基盤づくり	大阪市の文化的環境整備（発表の場の提供、鑑賞機会、創作・参加機会等）に関する満足度※	9.9%	11.3%	—	約4割
A 文化創造の基盤づくり	大阪市芸術文化振興事業助成金の申請件数	167件	183件	215件	約200件以上
A 文化創造の基盤づくり	「なにわの芸術応援募金」寄附件数	336件	223件	205件	約650件以上
B 都市のための文化	観光資源や経済の活性化に、文化の力が活用がされていると感じる市民の割合※	12.9%	34.2%	—	約3割
C 社会のための文化	教育・福祉・まちづくり等あらゆる施策に、文化の力が活用されていると感じる市民の割合※	14.1%	18.7%	—	約2割

※大阪市市政モニターアンケート結果